

お知らせします 村の家計簿

平成21年度決算報告

村の平成21年度の決算がまとまり、 9月下旬に行われた村議会定例会で認定されました。

村では、厳しい財政状況の中、第3次鮫川村振興計画に基づき、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念に、 4つの基本施策を展開する事業を進めてきました。

これらの基本施策を盛り込んだ平成21年度の歳出(支出)決算額は、一般会計が34億3,166万5千円、特別会計が12億4,925万3千円で、全会計合わせて46億8,091万8千円となりました。

今月は、平成21年度決算のあらましをお知らせします。



村敬老会（9月18日）

一般会計

平成二十一年度の一般会計決算額は、歳入(収入)総額が三十八億三千四百九万二千円、歳出(支出)総額が三十四億三千百六十六万五千円で、歳入歳出差引額が四億二百四十二万七千円の黒字となりました。

【歳入】

歳入は、前年度と比較すると六億千七百十三万九千円(一九・二％)の増加となりました。

歳入は、その性質から「依存財源(国や県から入ってくるお金)」と

次に、自主財源では、平成二十年度からの繰越金が最も多く、前年度に比べ二億六千二百七十万円(四三七・七％)増の三億二千二百七十一万四千円となりました。これは、

平成二十年度事業のうち、小・中学校の耐震補強改修事業や定額給付金給付事業、定住促進住宅建設事業などが平成二十一年度に繰り越して実施されたことによるものです。

続いて、みなさんに納めていただいた「村税(村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯

「自主財源(村が自分の手で確保できるお金)」に分けられます。

依存財源で大半を占めるのは、地方公共団体間の税財源の格差を解消し、行政サービスを平等に提供するための財源として交付される「地方交付税」で、前年とほぼ同額の十五億八千九百三十三万五千円となりました。また、大きな事業を行う場合には、国や県から補助金をもらいますが、県支出金は、前年度に比べ五千五十一万円(二八・〇％)増の三億三千四十八万円となり、国庫支出金は、前年度に比べ二億千九百三十二万七千円(五六・

税)」となり、前年度に比べ千三百二十四万四千円(四・六％)減の二億七千四百万五千円となりました。

【歳出】

歳出は、前年度に比べ全体で五億三千七百四十二万五千円(二八・六％)の増となりました。

目的別では、総務費が七億二千七百九十六万七千円(支出全体の二一・二％)でトップとなり、次いで教育費の六億八千七百二十二万

六％)増の六億六百五十三万八千円が村に交付されました。

県支出金の増は、失業した方などの雇用機会を作るために、県が造成した基金を活用した事業などを実施したことによるもので、国庫支出金の増は、国の経済危機対策として予算化された各種交付金を活用した事業を実施したことによります。

さらに、「村債(村が事業を行うために借り入れたお金)」は前年度に比べ一億二千百九十万円増の三億八千二百五十万円となりました。

七千円(同二・〇％)、農林水産業費の五億千八百八十七万三千円(同一四・九％)と続きます。

性質別では、普通建設事業費が九億千五百三十五万五千円(支出全体の二六・七％)でトップとなり、人件費の六億千二百二十万二千円(同一七・八％)、補助費等の五億三十七万四千円(同一四・六％)と続きます。

平成二十一年度に行った主な事業の内容については、四・五ページをご覧ください。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために、予算を分けて独立して設けた会計をいい、村には十の会計があります。

平成二十一年度の特別会計決算額の総額は、歳入が十三億千三百万四千円で、前年度に比べ六千五百七十八万九千円(四・八％)の減となり、歳出は十二億四千九百二十五万三千円で、前年度に比べ七千二百二十万四千円(五・四％)の減となりました。

■会計決算の状況

会 計 別	歳入総額	歳出総額	差 引 額
一 般 会 計	38億3,409万2千円	34億3,166万5千円	4億242万7千円
特 別 会 計	13億1,300万4千円	12億4,925万3千円	6,375万1千円
国民健康保険	5億4,317万6千円	5億1,270万円	3,047万6千円
事業勘定直診勘定	9,938万9千円	9,237万4千円	701万5千円
老人保健	161万2千円	145万2千円	16万円
簡易水道事業	8,202万8千円	7,959万3千円	243万5千円
村営バス事業	1,278万6千円	1,053万8千円	224万8千円
集落排水事業	3,163万6千円	2,938万6千円	225万円
介護保険	3億5,928万3千円	3億4,455万9千円	1,472万4千円
交流施設	1,745万2千円	1,476万1千円	269万1千円
学校給食センター	1億3,263万3千円	1億3,094万2千円	169万1千円
後期高齢者医療	3,300万9千円	3,294万8千円	6万1千円
決 算 総 額	51億4,709万6千円	46億8,091万8千円	4億6,617万8千円

■一般会計歳入決算の状況

区 分	決 算 額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自 主 財 源	8億2,867万4千円	21.6	2億3,373万5千円	39.3
繰 越 金	3億2,271万4千円	8.4	2億6,270万円	437.7
村 税	2億7,400万5千円	7.2	△1,324万4千円	△4.6
繰 入 金	1億5,107万8千円	3.9	71万円	0.5
使用料及び手数料	3,460万4千円	0.9	47万9千円	1.4
そ の 他 ①	4,627万3千円	1.2	△1,691万円	△26.8
依 存 財 源	30億541万8千円	78.4	3億8,340万4千円	14.6
地方交付税	15億8,933万5千円	41.5	△6千円	0.0
国庫支出金	6億653万8千円	15.8	2億1,932万7千円	56.6
村 債	3億8,250万円	10.0	1億2,190万円	46.8
県 支 出 金	3億3,048万円	8.6	5,051万円	18.0
そ の 他 ②	9,656万5千円	2.5	△832万7千円	△7.9
計	38億3,409万2千円	100.0	6億1,713万9千円	19.2

※その他①＝諸収入、財産収入、寄附金、分担金及び負担金／その他②＝地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、利子割交付金、交通安全対策交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金

■一般会計目的別歳出決算の状況

区 分	決 算 額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
総 務 費	7億2,796万7千円	21.2	1億422万4千円	16.7
教 育 費	6億8,722万7千円	20.0	4億8,002万9千円	231.7
農 林 水 産 業 費	5億1,187万3千円	14.9	7,173万9千円	16.3
民 生 費	5億1,046万4千円	14.9	△1億2,630万5千円	△19.8
公 債 費	3億7,600万5千円	11.0	△904万9千円	△2.4
衛 生 費	2億3,940万4千円	7.0	727万1千円	3.1
土 木 費	1億4,043万2千円	4.1	△3,104万4千円	△18.1
消 防 費	1億1,014万2千円	3.2	135万7千円	1.2
議 会 費	4,692万7千円	1.4	△72万3千円	△1.5
労 働 費	4,278万1千円	1.2	3,905万2千円	1,047.3
そ の 他	3,844万3千円	1.1	87万4千円	2.3
計	34億3,166万5千円	100.0	5億3,742万5千円	18.6

※その他＝商工費、災害復旧費

■一般会計性質別歳出決算の状況

区 分	決 算 額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
普通建設事業費	9億1,535万5千円	26.7	4億521万9千円	79.4
人 件 費	6億1,202万2千円	17.8	△5,072万4千円	△7.7
補 助 費 等	5億37万4千円	14.6	1億846万1千円	27.7
公 債 費	3億7,600万5千円	11.0	△9,050万円	△2.4
物 件 費	3億2,904万5千円	9.6	6,180万9千円	23.1
繰 出 金	2億9,264万5千円	8.5	1,099万6千円	3.9
積 立 金	2億14万9千円	5.8	△206万9千円	△1.0
扶 助 費	1億8,286万3千円	5.3	2,081万2千円	12.8
そ の 他	2,320万7千円	0.7	△802万9千円	△24.0
計	34億3,166万5千円	100.0	5億3,742万5千円	18.6

※その他＝維持補修費、投資及び出資金・貸付金、災害復旧事業費

全会計合わせて歳入総額51億円、歳出総額46億円

【歳入】 対前年度比 5 億5,135万円(12.0%) 増 【歳出】 対前年度比 4 億6,622万 1 千円(11.1%) 増

主な事業概要④	主な事業概要③
＜農村の人づくりと産業ビジョン＞ 地域から世界を見ることができる人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現 【学校教育、生涯学習の充実】 ● 鮫川小学校校舎・体育館の耐震改修および青生野小学校の耐震診断などに 1億3,643万円 ● 鮫川中学校校舎・体育館の耐震改修のために 3億845万円 ● スクールバス運行のために(スクールバス1台購入、小学校2台・中学校4台の運行委託) 1,891万円 ● 学校給食センター運営のために(学校給食センター特別会計繰出金など) 3,107万円 ● TV会議システムによる交流授業のために 105万円 ● 公民館整備のために(アスベスト除去、耐震診断など) 2,047万円 ● 体育施設(トレセン、青少年広場など)の管理運営に 1,970万円 【安心安全、顔の見える農業の振興】 ● 水田作付条件整備事業(暗渠排水12件) 91万円 ● 肉用牛生産振興事業に(市場運搬経費、ヘルパー経費補助) 130万円 ● 優良牛整備増殖事業に(優良和牛基礎雌牛導入補助) 59万円 ● 豊かな土づくりセンター整備のために(用地買収、バイオディーゼル燃料製造機購入など) 4,865万円 【ふるさとの森を守り育てる】 ● 林業活性化(松くい虫防除事業など)のために 744万円 ● 緑の文化財保全のために 139万円 【商工業の振興、雇用機会の確保】 ● 商工業振興事業のために(商工会補助) 339万円 ● 経済対策による雇用の創出・就業機会の提供のために 4,267万円 【村の特徴を活かした観光の振興】 ● 高原の鮫川うまいもの祭りのために 180万円 ● 鹿角平観光牧場運営、施設修繕のために(運営委託、天文台・管理棟修繕など) 602万円 【その他】 ● 国土調査のために 3,412万円 ● 議会運営のために 4,693万円 ● 村の借入金返済のために 3億7,600万円 ● 地方振興費(各行政区への補助金) 250万円 ● 区長・副区長・行政連絡員報酬として 1,051万円 ● 定額給付金事業のために 7,160万円	＜農村の暮らしビジョン＞ みんなが安心して生活できる村の実現 【安心生活ができる公共交通づくり】 ● 生活バス路線運行のために(福島交通バス運行補助金および村営バス特別会計繰出金) 1,234万円 【多様な暮らしの工夫】 ● 携帯電話通話地域拡大のために(戸草、石井草、福原地区) 6,164万円 ● 分譲住宅地造成のために 1,313万円 ● 水口定住促進住宅整備(1棟3戸)、移住交流促進用土地建物購入のために 4,710万円 【火災と災害への備え】 ● 小型動力ポンプ付積載車などの更新のために 484万円 ● 白河地方広域圏常備消防費負担金 7,462万円 ● 高齢者などの住宅への火災警報器設置のために 40万円 【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】 ● 住民健康診査のために(各種がん検診含む) 1,154万円 ● 後期高齢者医療保険運営のために(県後期高齢者医療広域連合負担金など) 6,292万円 ● 介護保険運営のために(介護保険特別会計繰出金など) 6,724万円 ● 新型インフルエンザ予防接種のために 92万円 ● 診療所の運営のために(直診会計繰出金) 1,300万円 【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】 ● 高齢者総合福祉センター(ひだまり荘)運営、高齢者向け優良賃貸住宅施設管理のために 1,149万円 ● さざり荘運営、改築のために 1,628万円 ● 高齢者生活支援事業のために(緊急通報システム借料、紙おむつ給付、住宅改修など) 996万円 【子育て支援体制づくり】 ● 保育園・こどもセンター運営のために 1億1,297万円 ● 乳幼児医療費助成のために 1,251万円 ● 妊婦一般健康診査のために 216万円 ● 妊産婦医療費助成のために 969万円 ● 幼稚園運営費として 3,126万円 ● 児童手当のために 3,111万円 【障害者の支援体制づくり】 ● 障害者自立支援給付のために 6,436万円 ● 重度心身障害者医療費などのために 2,156万円

主な事業概要②	主な事業概要①
＜農村の環境ビジョン＞ 自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現 【道路網・道路環境の整備】 ● 林道整備・治山事業のために(整備6路線、維持補修11路線／治山事業3地区) 1億35万円 ● 道路維持補修のために(国道除草、除雪、立木補償など) 2,269万円 ● 村道改良のために(3路線) 3,502万円 ● 県営農道整備事業負担金として(東野中部地区農免農道など) 719万円 【水を大切にし、環境に配慮した排水の処理】 ● 合併処理浄化槽設置費補助のために(11基) 654万円 ● 集落排水事業のために(集落排水事業特別会計繰出金) 2,190万円 【その他】 ● 東白衛生組合運営費負担金として 7,227万円	＜農村の再生ビジョン＞ 独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現 【環境と健康を食べる】 ● 農産物加工・直売所事業のために(施設管理、改修工事、敷地購入など) 1,983万円 ● 大豆による元気づくり事業に(大豆栽培・振興事業、特産品開発、アイディア料理コンテスト、食育推進など) 1,043万円 ● 米製粉機購入 283万円 【農村の景観と文化を生かす】 ● 館山公園整備事業のために(支障木整理、用地買収、基金への積立など) 3,650万円 ● 中山間地域直接支払交付金として 1億2,276万円 ● 都市との交流事業、交流施設の運営のために 1,215万円 【その他】 ● 公共土木施設、農林水産業施設災害復旧のために(21年発生災…河川2か所、農地など3か所) 687万円



水口定住促進住宅



宿ノ入分譲地



耐震改修された鮫川小学校

村民1人당 に使われるお金は**882,153円**(135,989円増)です。

平成21年度一般会計歳出決算額÷平成22年3月31日現在の人口4,174人で計算。
【()内は対前年比。平成20年度は平成21年3月31日現在の人口4,218人で計算。】

総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	174,405円 (26,529円)
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	164,645円 (115,523円)
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	122,634円 (18,287円)
民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	122,296円 (△28,669円)
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	90,083円 (△1,205円)
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	57,356円 (2,322円)
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	33,645円 (△7,008円)
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	26,388円 (597円)
議会費	村議会運営のためのお金	11,243円 (△54円)
その他	商工業の振興、失業対策事業、災害復旧などのためのお金	19,459円 (9,669円)

村のお金の使いみち

平成21年度はこんな仕事を行いました。